科目名	中国語Ⅱ　　Chinese II						
科目担当者	園田 美伽　　SONODA Mika						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	法学部・法律学科［総合教育科目　外国語］ 経営学部・経営学科［総合教育科目　外国語］					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	授業では、まず中国語の基礎を学ぶ。積極的に声を出して正しい発音を学び、さらに聴き取りが正確にできることを目指す。したがって、毎回休まず出席し、前向きに授業に取り組む姿勢が必要になる。また、中国語を苦手としている学生に向けて初歩からの解説を行う。テキストを使用して、基礎的分野を反復することによって、学習のつまづき、不安を克服する。授業を通して中国語の楽しさを実践させる。						
授業の到達目標	中国語Ⅰの内容をふまえ、 ①、中国語で簡単な自己紹介ができ、簡単な日常会話が話せること。 ②、簡単な日常会話が聴き取れるようになることが目標である。 ③、自分の名前や大学名に加えて、家族や出身地などの簡単な自己紹介ができるようになるのが目標である。						

授業計画・内容		
	1	オリエンテーション　　教科書第６課までの復習
	2	第１課　本文と文法説明　因果助詞“因为 …所以”の使い方
	3	第２課　本文発音テストと練習問題
	4	第３課　本文と文法説明　結果補助語　助詞“要”、介詞“离”の使い方
	5	第４課　本文発音と練習問題
	6	第５課　本文と文法説明　使役表現、　動態助詞“着”使い方
	7	第６課　本文発音と練習問題
	8	第７課　本文と文法説明　助詞“能”、反復疑問文の使い方　中国語検定試験の勉強
	9	第８課　本文発音と練習問題
	10	第９課　本文と文法説明　“有点儿”“一点儿”の違い
	11	第 10 課　本文発音と練習問題　中国語検定試験の勉強
	12	第 11 課　本文と文法説明、練習問題　助動詞“会”“可以”使い方
	13	第 12 課　本文と文法説明、練習問題　介詞“跟”使い方
	14	第 13 課　本文と文法説明、練習問題　副詞“又”と“再”使い方
	15	第 14 課　総合復習

授業外学修 (事前学修)	①　指定した教科書の文法ポイントを事前に読んでおくこと。 ②　毎回授業の最初に前回授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと。 ③　次回の授業範囲を予習して、新しい単語の意味を理解しておくこと。 ④毎回、教科書の対象範囲を熟読し、自分なりにノートにまとめてみる（毎週 2 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	①授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。 ②毎回、授業範囲を予習し、専門用語の意味等をあらかじめ調べておく（毎週 2 時間程度） ③毎回、授業内容について要点を整理し、不明な箇所を調べておく（毎週 2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	①定期試験	60%	①、②、③
	②授業中の小テスト	20%	①、②
	③２回の課題の提出	20%	②、③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	著者：　徐　送迎　　初級中国語『オリンピックへ　ようこそ』講読編　　朝日出版社
参考文献	相原 茂　著『はじめての中国語学習辞典』朝日出版社
その他	